

# Port of Hachinohe

No. 39  
Jan 2014

---Maritime & Trade Report---

- 今号の主な記事
- みなとの魅力発信番組「八戸発!みなとの未来」放送中
- ハワイ州ホノルル市にて「AOMORI FAIR」開催!
- 八戸市海外経済協力員レポート(台湾)

## 八戸港に開港以来2万隻目の貿易船入港

平成 25 年 9 月 7 日に、昭和 14 年（1939 年）に貿易港として開港指定以来 2 万隻目の貿易船が八戸港に入港しました。2 万隻目はパナマ船籍の貨物船『JUBILANT SKY』号（総トン数 29,739 トン）で、フィリピンから大平洋金属(株)向けニッケル鉱石を積み、八戸港に入港しました。

9 月 9 日には、入港を祝い八戸港国際物流拠点化推進協議会が主催して、同船船内で関係者 45 名が出席して盛大に記念式典が開催されました。式典では小林会長（八戸市長）から「地域発展のため、八戸港を貿易拠点港としたい」との挨拶に続きダヤキャブ船長から「2 万隻目となって幸運だ。お世話になっている八戸港の関係者に感謝する」と謝辞の後、船長に花束と記念品が贈呈されました。

また、9 月 17 日には市内のホテルにおいて祝賀会が開催され、次の 2 万 5 千隻目に向けて更なる発展を誓い合いました。八戸港は平成 5 年に 1 万隻、平成 14 年に 1 万 5 千隻を数え、開港 75 年目となる平成 25 年に 2 万隻目を迎えました。

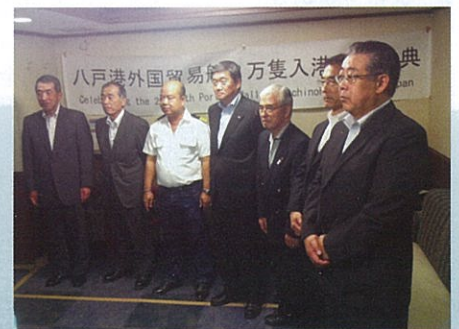
八戸港湾運送株式会社  
常務取締役 福山 務氏



「JUBILANT SKY」号



記念品贈呈  
(右：ダヤキャブ船長  
左：大平洋金属(株)東社長)



八戸港関係者

# 八戸港国際フィーダー航路 井本商運 新造船「さがみ」入港

八戸港と京浜港を結ぶ国際フィーダー航路に、神戸市に本社のある井本商運株の新造船「さがみ」が就航したことを祝し、八戸港国際物流拠点化推進協議会では、平成 25 年 12 月 3 日に、八戸港において入港セレモニーを開催しました。

同船は内航コンテナ船として国内最大で、コンテナ積載数は 404TEU と、これまでの約 2 倍の輸送能力を持ち、セレモニーでは、井本商運株の井本隆之代表取締役社長から「八戸と京浜が『さがみ』で結ばれることで、八戸港がますます発展して欲しい」との挨拶をいただき、井本社長、山市揮一船長、幸田繁利機関長へ花束及び記念品が贈呈されました。

同社の航路は平成 18 年 3 月に開設され、八戸港へは週 1 便が寄港しています。船の大型化によりさらなる輸送ニーズに対応可能となるとともに、低コスト化、省エネ化が期待されることから、より多くの皆様のご利用をお願いいたします。



八戸入港セレモニー



荷役の様子

## 「さがみ」概要

総トン数	2,446 トン
全長/全幅	110.7m / 17.4m
最大積載	404TEU
冷凍コンテナ積載能力	82 個
竣工	平成 25 年 11 月

みなとの魅力  
発信番組

## 「八戸発！みなとの未来」放送中

ATV（青森テレビ）で  
毎月第 2、第 4 土曜日の午前 10 時 15 分から



番組キャラクター  
八戸シーちゃん

株式会社青森テレビ 八戸支社分室 梶沢 直樹 氏

「あなたの知らない八戸港を知ってほしい」

平成 25 年 10 月からスタートした「八戸発！みなとの未来」は、多様な機能を持つ“八戸港”の姿をもっと知ってもらうことで、県民一人ひとりが未来の八戸港を考える手助けになることを願ってスタートしました。

八戸市の監修の下で番組を作るのは、県南地方在住の男女 8 人。20 代から 60 代までのメンバーが、港湾特有の早朝、深夜の取材にもめげず、知っていそうで知らなかったり、また何気なく見過ごしていた八戸港の魅力と情報を発信していきます。

昨年、東日本大震災の津波被害から復旧した最初の港湾として着実な復旧のシンボルともなった八戸港は、港の南端にある蕪島・種差海岸が「三陸復興国立公園」に加えられました。復旧から復興へと進む八戸港の現在と未来を、港で働く人々や出来事を通してお伝えしたいと思っています。

※この放送は青森県緊急雇用創出基金を活用した、八戸市の「八戸港・貿易振興広報事業」として実施されています。



元気で多彩な  
8 人の制作メンバー  
(前列右端：梶沢氏)



多くの意見を出し合う映像の編集



八戸港でコンテナ荷役現場を取材



ATV「おしゃべりハウス」  
にも出演

お問い合わせ先

八戸市商工労働部産業振興課  
TEL 0178-43-9244

# ハワイのホノルル市で「AOMORI フェア」開催！

青森県産品大好評 \*\*\*\*\* 株式会社ファーストインターナショナル（八戸市）  
営業部 小清水 貴子 氏

平成 25 年 10 月 8 日から 13 日までの 6 日間、米国ハワイ州ホノルル市にある日系会員制スーパーのマルカイホールセールマートにおいて、「AOMORI フェア」を開催いたしました。県内食品メーカー 12 社、青森ご当地グルメ 4 団体と八戸市、青森市、黒石市、十和田市 4 市から合計 35 名と、たくさんの方にご参加をいただきました。東北では初の出展となった今回のフェアですが開店前から行列ができるなど、たくさんのお客様にお越しいただき、これまで同社で開催されたフェアの中でベスト 3 に入る実績との評価をいただきました。



会場の様子

中でも、B-1 グランプリ・ゴールドグランプリ受賞の八戸せんべい汁をはじめ、十和田バラ焼き、青森生姜味噌おでん、黒石つゆやきそばの、ご当地グルメお振舞いには長い行列ができ、あっという間に一日各 300 食が完食になってしまうほどハワイのお客様に大好評でした。

また、県内メーカーの方による試食販売も予想以上の売れ行きで、開催期間前半で売り切れてしまう商品もあり、お客様から次の入荷予定を聞かれるなど、早速次回のご注文をいただくことができました。

この事業は八戸市をはじめとする行政のご支援をはじめ、ご当地グルメの皆様、メーカーの皆様、そして現地ホノルルのマルカイのスタッフの方といった沢山の方々に 1 年以上も前から準備に協力いただき、全員がそれぞれ「AOMORI フェア」というイベントの成功に向けて一丸となって取り組んだ成果がこのような評価につながったのだと思います。現地ではちょっとしたトラブルもありましたが、お互いカバーしながら解決することができました。

既に平成 26 年もハワイでのフェア開催が決定しており、米国ロサンゼルスでも「AOMORI フェアを！」という要望があります。今回の経験を活かし、関係機関と連携し、更に発展した形のフェアを展開していきたいと思っています。



試飲販売（奥が小清水氏）



AOMORI FAIR 参加者

青森ご当地グルメ 4 団体が初の共同海外PR \*\*\*\*\* 青森ご当地グルメ海外展開実行委員会  
会長 田村 暢英 氏  
(八戸せんべい汁研究所 所長)

平成 24 年に、B-1 グランプリ in 北九州でゴールドグランプリを受賞後、ユニフォームの T シャツにあしらった「せんべい」の『せ』を指さして、市民の皆様には「これからは世界の『せ』、だ！」とその場で思いつきの言葉を発したことが直後に現実となり、平成 25 年春に台湾、そして今回ハワイで青森ご当地グルメを紹介できたことに感謝しています。

今や青森県は、ご当地グルメで「まちおこし」をする活動で全国のトップランナーと言っても過言ではありません。主眼はまだ国内への発信が主ですが、それを更に進展・浸透させながらグローバルな活動にも鋭敏に対応していくネットワークを持って進んで行きたいと考えていましたので、今回この機会を与えていただき、とても勉強になりました。

今回の経験は長年共に活動している各団体メンバーにも大いに刺激になり、各々に新たなチャレンジ精神が宿ったものと確信します。私達は今後も明るく、躍動感をもって青森ご当地グルメを世界に発信する役割を率先して担って参ります！



田村会長と八戸市キャラクター「いかずきんズ」



八戸せんべい汁のお振舞い



現地日本語ラジオ放送に出演

## フード台北・香港フードエキスポに出展

八戸市では、地場産品の海外販路拡大、市場のリスク分散、青森県産食品の安全性のPRのために、今年度2つの海外展示会に出展致しました。

平成25年6月26日(水)～29日(土)の4日間の会期で台湾にて開催された「フード台北2013」では、八戸市内の3社(うち1社は現地へ渡航)が出展し、来訪バイヤーと商談を行いました。フード台北はアジア最大級の食品見本市で、今回は台湾内外から約65,000人が来訪しました。

また昨年8月15日(木)～17日(土)の3日間の会期で開催された「香港フードエキスポ2013」には、八戸市ブースに3社が出展しました。今年度、香港フードエキスポは26の国と地域から1,100の出展者が参加し、各国・地域から20,000人を超えるトレードバイヤーが来訪しました。

今回の経験・ネットワークを活かし、関係機関と協力して、八戸港を通じた更なる海外販路拡大、貿易振興に取り組んで参りたいと考えております。



フード台北 八戸市ブース



フード台北 商談の様子



香港フードエキスポ 八戸市ブース

## 八戸セミナー2013開催

八戸市、八戸港国際物流拠点化推進協議会及び八戸市企業誘致促進協議会は、八戸港の利用促進及び当市の立地環境の優位性を中部圏及び首都圏の企業にPRするため、平成25年7月23日に名古屋市、翌24日に東京で「八戸セミナー2013」を開催しました。

セミナーには、船会社はじめ荷主や関係者など延べ371人(名古屋83人、東京288人)の皆様に出席いただきました。

開催にあたりましては、小林八戸市長が出席し、多くのコンテンツを用意した中でも、八戸市の魅力を一番感じられるのはなんといっても立地企業の皆様からの声を直接聞くことができる講演会です。

名古屋会場では、J X日鉱日石エルエヌジー・サービス株式会社 代表取締役社長の松田浩二氏から、東京会場では合同酒精株式会社 常務取締役の秋野利郎氏から、また両会場におきましてマネックス証券株式会社 執行役員の佐藤歩氏から、それぞれ八戸進出のメリットや立地環境についてご講演をいただきました。

その後の情報交換会では、セミナーの内容を踏まえた積極的な意見交換・交流を通して、世界に開かれた八戸市・八戸港の魅力をPRいたしました。



名古屋会場



東京会場

# 八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成26年1月現在、香港、台湾の台北、中国の天津・上海、シンガポール、米国ワシントン州タコマに在住の6名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市商工労働部産業振興課(TEL0178-43-9244)までご連絡ください(なお、海外経済協力員の日程等の都合により、対応できない場合もあります)。

REPORT

## 台湾レポート



はたやま あつし  
畑山 篤氏 (青森県五戸町出身)  
黒剣テレビ番組制作株式会社副社長

台北は台湾最大の都市ですが、街を歩くと「昔と今」がうまく混在しているという印象を受けます。古くてお世辞にも綺麗ではない(台湾の皆さん、失礼!)建物も大切に使われ、おしゃれな飲食店や流行ファッションの店が入っています。そして歩道を覆うように、市民の重要な交通手段であるオートバイ(スクーター)がずらりと停められている、これが日常目にする風景です。

私は海外駐在が3度目です。台北は初めての単身赴任ですが、当地の多くの人たちに助けられながら毎日を送っています。ある調査によると、台湾の人たちが一番好きな国は「日本」という結果が出ています。これを裏付けるかのように、台湾観光局

の統計によりますと、平成25年1月から10月までに日本を訪れた台湾の人は200万人を超え、中国に次いで2番目。逆に台湾を訪れた外国人のうち日本人は約18%を占め、「中国・マカオ・香港」に次ぐ高い数字となっています。その要因には文化、歴史、地理、経済などが挙げられるでしょう。

歴史的・政治的な背景から世界の多くの国と正式な外交関係が無い台湾にとって、外国からの投資を呼び込んだり観光客に来てもらうことは非常に重要です。そのためのPRやイベントにはとても積極的です。

昨年10月にはアジア太平洋地域で最大とされる旅行博が開かれました。60を超える国・地域から自治体や業者が1,350のブースを出し、日本のブースは最多の118ブースでした。ステージでのショーや、格安旅行パックの販売もあり、会場は大変な熱気でした。

文化交流も盛んです。昨年9月末には「アジア太平洋文化の日」と題して、アジアや太平洋の国々が参加して民族舞踊や特産品の展示販売が行われました。

この他、台湾と日本の産業協力を促進するためのフォーラムや会議も盛んに行われています。日中関係が依然として厳しい中、中国を含む中華圏への足掛かりとして、「親日」台湾は益々重要性を増すと思います。



台北の街



旅行博



AKB48が台北での旅行博で日本PR



アジア太平洋文化の日

## 海外販路拡大に向けたベトナム・インドネシアの現地事情

平成 25 年度青森県農林水産物輸出促進協議会 水産・加工部会の海外販売促進事業として、平成 25 年 10 月 20 日（日）～ 25 日（金）の期間、東南アジアへの県産農林水産品の輸出拡大を図るため、経済発展が著しいベトナム及びインドネシアにおいて、現地輸入業者等との意見交換・商談、現地事情の調査等、水産品・加工品の販売促進活動が実施されました。

参加された企業の御担当者の感想を紹介いたします。



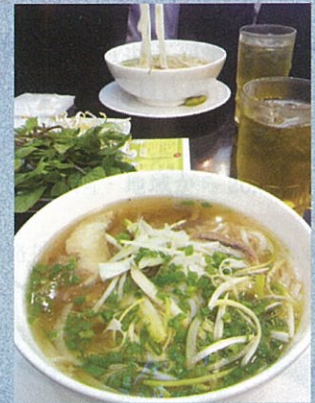
株式会社マルヌシ  
営業部課長 前田 敬介 氏

株式会社マルヌシ  
代表取締役：地主 陽一  
住所：青森県八戸市白銀二丁目 5-1  
従業員数：95 名 創業：昭和 27 年  
HP <http://www.marunushi.co.jp/>  
事業内容：冷凍・冷蔵業、鮮凍魚出荷販売、  
加工食品製造販売

青森県の農水産物輸出促進事業の一環で、ベトナムはホーチミン市へ渡航する機会を得ました。私が感じたのはノスタルジックといいますか、「昔の日本もこんな感じだったのだろうな」という羨ましさです。高度経済成長の頃の日本は、まさに今のベトナムのように、今日よりも明日のほうが良いはずだ、という期待感で満ちていたのではないのでしょうか。人々は大変元気で、若く、明るい。市場としてはまさにこれからで、良い時期に訪れる事が出来たと思います。

ところで、ベトナム料理で有名な「フォー」という米粉で作ったスープ麺の食べ物があります。現地の方は香草を入れて食べるのが一般的なのですが、噂に聞く香草は想像を超えた物で、よくもこんなものをおいしそうに食べるものだ、と、習慣や好みの違いを痛感しました（香草には虫除けの効果があり理に適ったものだそうです）。

こうしてお互いの違いを理解しながら、今後も良い関係を築いていけたらと思います。



フォー



ホーチミンの市場



JETRO ホーチミン事務所での  
現地事情ヒアリング

## 八戸港災害復旧事業完了 – 東日本大震災の被災港で初 –

平成 23 年 3 月の東日本大震災により被害額約 394 億円に上る甚大な被害を受けた八戸港では、震災直後から、国、青森県による航路泊地の啓開作業を始めとして、防波堤、コンテナターミナル、埠頭用地等の復旧工事が進められてきましたが、平成 25 年 7 月、八太郎北防波堤の復旧工事が終わり、八戸港におけるすべての復旧工事が完了しました。被災港湾で初めての完全復旧となりました。

この復旧工事の完了を記念し、平成 25 年 8 月 10 日（土）、八戸港貿易センタービルにおいて、「八戸港災害復旧事業完了式」が開催され、主催者である国土交通省東北地方整備局、青森県、八戸市のほか、関係者約 110 名余りが出席し、港の機能回復を祝いました。

式典では、主催者として、中野東北地方整備局副局長、三村青森県知事、小林八戸市長から挨拶があり、また、港湾関係者を代表し、大矢八戸港振興協会会長から謝辞が述べられました。

式典終了後には、「八戸港見学会」（主催：八戸港振興協会）として、八戸港の海上視察が開催され、同日夕方には、「八戸港災害復旧事業完了慰労会」（主催：八戸商工会議所、八戸港振興協会）が八戸グランドホテルで開催されました。



八戸港災害復旧事業完了式



小林八戸市長挨拶



復旧状況視察

お問い合わせ先

八戸市建設部港湾河川課  
TEL : 0178-43-9386

# 2012年の青森県輸出入額は 共に前年比でマイナス

日本貿易振興機構(JETRO)  
青森貿易情報センター  
TEL 017-734-2575  
FAX 017-773-2877  
〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

ジェトロ青森は毎年、前年の青森県内の貿易を、県内企業に対する任意アンケート及び県内税関の通関統計を集計し、発表しています。2012年の輸出は前年比37.2%減の1425億円、輸入は同8.1%減の1923億円でした。青森県からの主な輸出品目は単金属製品502億円(全体の35.2%)、機械・電気製品414億円(全体の29.1%)、農水産物は100億円(全体の7.0%)を占めています。詳細は別表のとおりですが、前年比で減少した品目の要因としては、円高と福島第一原発事故による影響も指摘されています。

輸出先国ではカナダ、タイ、スペイン向けにりんご、加工食品、精密機械等で輸出の伸びが見られます。一方で、ペルー、スイス、ロシア、フランスで水産物やりんご、加工食品、機械製品等の輸出が減少しました。

青森県の主な輸入品目は、鉱物性生產品741億円(全体の38.5%)、農水産物500億円(全体の26%)、鉱物性燃料・鉱物油351億円(全体の18.3%)などとなっています。ドイツとサウジアラビアから機械製品、化学工業生產品、石油ガス等の輸入が伸びた一方で、英国、イタリアからの化学工業生產品、鉱物性生產品、農水産物等が減少しています。

ジェトロ青森では、「青森県の貿易～2012年の青森県貿易概況～」として冊子を発行していますので、詳細に関心がある方は、是非お気軽にお問い合わせください。

青森県の主要品目別輸出額推移(2011年、2012年) (単位:100万円)

項目	2011年	2012年	対前年比伸び率	構成比
総額	226,792	142,492	△37.2%	100.0%
単金属製品	39,030	50,186	28.6%	35.2%
機械・電気製品	49,088	41,431	△15.6%	29.1%
車両・船舶	111,531	21,185	△81.0%	14.9%
精密機器・楽器等	11,265	18,057	60.3%	12.7%
農水産物	13,170	10,004	△24.0%	7.0%
革製品・バッグ、毛皮製品	443	648	46.4%	0.5%
化学工業生產品	714	472	△33.9%	0.3%
木材・紙及びその製品	623	222	△64.3%	0.2%
鉱物性生產品、鉱物性燃料・鉱物油	594	38	△93.6%	0.0%
プラスチック製品	68	16	△76.4%	0.0%
雑品	121	2	△98.4%	0.0%
再輸出入品	22	2	△90.7%	0.0%
ゴム製品	89	0	全減	0.0%
繊維製品	0	0	全減	0.0%
履物・帽子等	0	0	-	0.0%
石材・陶磁・ガラス製品	34	0	全減	0.0%

青森県の主要品目別輸入額推移(2011年、2012年) (単位:100万円)

項目	2011年	2012年	対前年比伸び率	構成比
総額	209,096	192,250	△8.1%	100.0%
鉱物性生產品	75,431	74,096	△1.8%	38.5%
農水産物	63,415	49,987	△21.2%	26.0%
鉱物性燃料・鉱物油	36,683	35,140	△4.2%	18.3%
木材・紙及びその製品	11,583	16,597	43.3%	8.6%
機械・電気製品	2,099	8,290	294.9%	4.3%
化学工業生產品	9,454	3,787	△59.9%	2.0%
精密機器・楽器等	3,771	2,659	△29.5%	1.4%
不明	0	649	全増	0.3%
単金属製品	2,278	525	△77.0%	0.3%
石材・陶磁・ガラス製品	775	223	△71.2%	0.1%
雑品	560	201	△64.1%	0.1%
プラスチック・ゴム製品	609	60	△90.1%	0.0%
繊維製品	862	35	△95.9%	0.0%
履物・帽子等	323	1	△99.7%	0.0%
革製品・バッグ、毛皮製品	38	0	全減	0.0%
車両・船舶	378	0	全減	0.0%
再輸出入品	836	0	全減	0.0%

## 八戸港の貿易概況報告(平成25年1月～11月)

※資料:八戸税関支署発表の貿易概況(八戸港・むつ小川原港・久慈港)から抜粋

### <概況>

11月の輸出は船舶による増加が大きく、原皮及び毛皮、非鉄金属も好調である。輸入は、亜鉛鉱、植物性油かす等が増加。貿易額合計では、3ヶ月連続前年を上回っており好調である。

### ■平成25年1月～11月の貿易速報値 (金額単位:千円)

#### 輸出

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
魚介類及び同調製品	MT	24,410	2,673,183	96.2%	106.7%
原皮及び毛皮(未仕上)	MT	4,544	764,746	105.4%	130.3%
鉄鋼くず	MT	26,975	1,011,197	74.9%	83.5%
有機化合物			320,465		86.0%
鉄鋼	MT	153,327	34,889,554	96.1%	90.6%
非鉄金属	MT	2,091	368,891	78.0%	92.5%
一般機械			40,334,578		111.8%
船舶類	NO	10	30,398,814	111.1%	143.8%
その他			2,979,619		188.6%
合計	-		113,741,047		111.1%

#### ●コンテナ貨物通関本数

	本数累計	前年比	前々年比
輸出	8,534 TEU	97.0%	137.4%
輸入	9,328 TEU	102.0%	132.9%
合計	17,862 TEU	99.6%	135.0%

#### ●月別貿易額 比較推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
前年比(対24年)	165.3%	130.1%	63.1%	146.0%	101.1%	105.1%	184.4%	88.7%	123.0%	105.7%	108.9%
前々年比(対23年)	101.5%	139.9%	132.3%	501.8%	286.3%	101.8%	128.8%	111.3%	91.4%	79.6%	91.8%

#### 輸入

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
魚介類及び同調製品	MT	10,527	3,831,059	133.3%	123.6%
小麦及びメシリン	MT	67,627	2,095,718	87.3%	107.6%
とうもろこし	MT	759,295	24,285,205	99.5%	119.2%
こうりゃん	MT	220,659	6,842,821	113.8%	142.7%
植物性油かす	MT	200,485	11,451,003	95.6%	145.3%
木材			1,106,245		141.4%
粗鉱物	MT	105,520	1,529,054	60.5%	91.1%
ニッケル鉱	MT	2,797,308	17,162,588	117.8%	127.2%
鉛	MT	32,659	4,844,286	150.6%	171.2%
亜鉛	MT	141,804	9,082,197	110.9%	138.8%
非鉄金属くず	MT	20,181	1,034,516	149.8%	155.7%
石炭・コークス・練炭	MT	735,222	10,021,151	112.0%	112.8%
肥料	MT	21,478	1,096,510	36.2%	39.7%
その他化学製品	MT	15,041	1,041,352	108.4%	117.9%
ウッドチップ	MT	619,974	13,088,936	83.6%	88.1%
織物用糸・織物			386,564		78.7%
金属製品			1,572,227		184.0%
一般機械			1,832,981		43.8%
電機機器			2,303,245		149.0%
再輸入品			334,894		66.7%
その他			15,366,477		159.8%
合計			130,309,029		119.9%

	コンテナ航路	船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送(株)	週2便 (火・木)	《寄港地》 韓国(釜山、光陽、蔚山、木浦)、中国(上海、天津新港、大連、青島、寧波) 《接続地》 中国、ベトナム、欧州、北米、南米、豪州他
	北米航路	WSL (Westwood Shipping Lines) (株)横浜コンテナライン	八戸港湾運送(株) 八戸通運(株)	-	《寄港地》 アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)、釜山 《接続地》 世界各港
内航	国際フィーダー航路	井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(金)	《寄港地》 横浜・苫小牧・仙台 《接続地》 世界各港
		鈴与海運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(金or土)	《寄港地》 東京・横浜 《接続地》 世界各港
		鈴与海運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(月)	《寄港地》 横浜・仙台・苫小牧 《接続地》 世界各港

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	5
光陽(韓国)	5	-
蔚山(韓国)	5	-
基隆(台湾)	6	15
台中(台湾)	7	14
高雄(台湾)	12	17
香港(中国)	14	12
大連(中国)	9	12
青島(中国)	10	10
上海(中国)	8	8
天津新港(中国)	7	13
寧波(中国)	7	9
蛇口(中国)	16	13
シンガポール	17	24
ジャカルタ(インドネシア)	26	22
バンコク(タイ)	17	17
レムチャパン(タイ)	18	17
マニラ(フィリピン)	27	24
ホーチミン(ベトナム)	14	20
ハイフォン(ベトナム)	13	15
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	31	21
オークランド(ニュージーランド)	40	28
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ハンブルク(ドイツ)	43	44
ロッテルダム(オランダ)	41	42



青森県では、平成24年度から八戸港湾機能高度化事業により、八太郎2号ふ頭(多目的国際物流ターミナル)にある、製造から40年が経過したコンテナクレーン1号機の更新工事を実施しており、三井造船(株)が受注しています。

新コンテナクレーンは大分県の製作工場を平成25年10月28日に出発し、八戸港に輸送、11月3日に八戸港入港、11月4日に八太郎2号ふ頭に据付されました。

事業の概要ですが、事業期間が調査・設計から製作・据付まで平成23年度から平成25年度までの3箇年、事業費約10億円です。

新コンテナクレーン1号機の概要ですが、高さ約72メートル、長さ約80メートル、幅約18メートル、自重約737トンとなっています。

特徴は、風向や風速情報モニタリングシステムによる事故予防機能の充実、くさび式レールクランプの採用による逸走防止能力の向上、走行レールブレーキの採用及び制動力の向上による安全装置機能の充実などがあります。

電気関係の工事や調整、各種検査、操作の習熟トレーニング等を行い、平成25年12月供用開始しました。



青森県三八地域県民局 地域整備部 八戸港管理所  
TEL:0178-21-2280 FAX:0178-21-2370

編集後記

最近各地のゆるキャラが注目を集めています。八戸市にも「いかずきんズ」というキャラクターがあります。昨年初めて、ゆるキャラグランプリにエントリーしました。昨年、緑の頭巾の「こかぶくん」と黄色い頭巾の「こうみちゃん」が仲間に加わり、4体となりました。こかぶくんは初の海外PRとなるハワイでのイベント(3ページ参照)でも大活躍、現地の子どもたちに大人気でした。

青森テレビ(ATV)で放送中の「八戸発!みなとの未来」では、頭に八戸銀さばのプーメランをつけた「八戸シーちゃん」が番組を盛り上げています。キャラクターをきっかけに、八戸により興味を持っていただけたら嬉しいです。



※航路情報や寄港地毎の所要日数等は、やむを得ず変更になる場合がございます。詳細は各代理店へご確認をお願いします。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL:0178-29-0202	FAX:0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL:0178-29-3177	FAX:0178-29-3119
新丸港運株式会社	TEL:0178-20-2321	FAX:0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL:0178-28-2401	FAX:0178-28-6976
三八五流通株式会社	TEL:0178-52-7755	FAX:0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL:0178-20-3040	FAX:0178-20-3154
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL:0178-73-9220	FAX:0178-73-9225

株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・青い森信用金庫  
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市商工労働部産業振興課内  
TEL:0178-43-9244 FAX:0178-43-2256 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp www.hi-net.ne.jp/hppc



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階  
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp www.hptc.co.jp